Sanwa STANDARD SIGN

スタンドサイン<スチール>

サンワ規格サイン

取扱説明書

2014.04（rev.2）

BATT-LXV5448　LWバッテリースタンド（両面式）

この度、当社の商品をご使用いただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、サンワ規格サイン、スタンドタイプの取り扱い方法と使用上の注意事項について記載しています。
正しく安全な場所に設置して、安心してご使用頂くために、この取扱説明書に記載された注意事項は必ずお守り下さい。

注意事項を守らずに使用して事故が発生しても責任を負いかねます。
不明な点がある場合は、取扱店又は当社までお問合せ下さい。

説明内容

1　警告表示とその意味

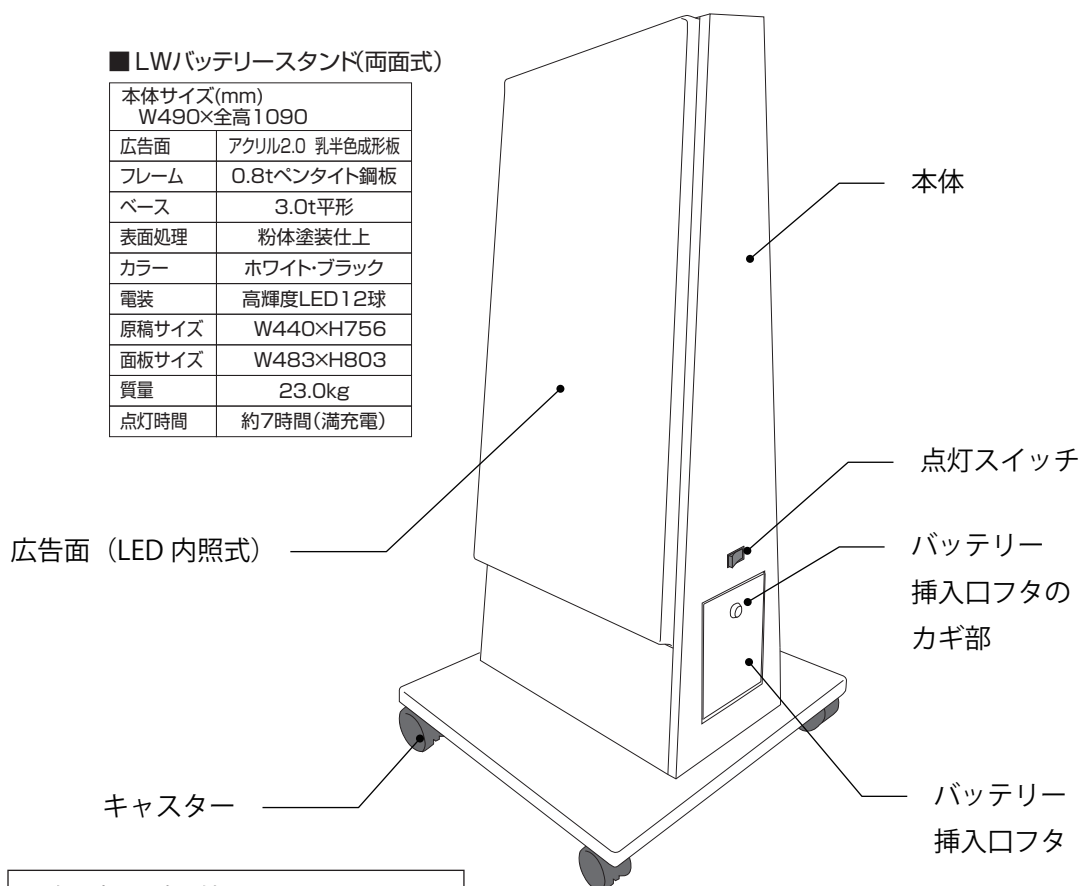
この取扱説明書に記載された注意事項は、安全に関する重要な内容のものです。
人身やその他の財産への被害を防止するために、次のような絵表示を記載しています。
下記の内容を良くご理解の上、取扱説明書をお読み下さい。
また、設置後も安全維持のためメンテナンスが必要ですので、本説明書をすぐに
取出せる場所に保管し、ご活用下さい。

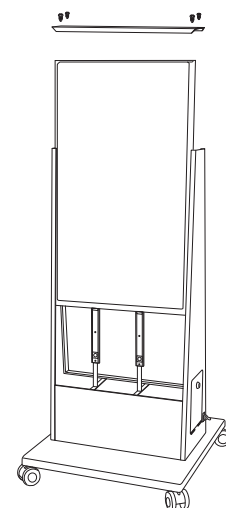
警告表示とその意味

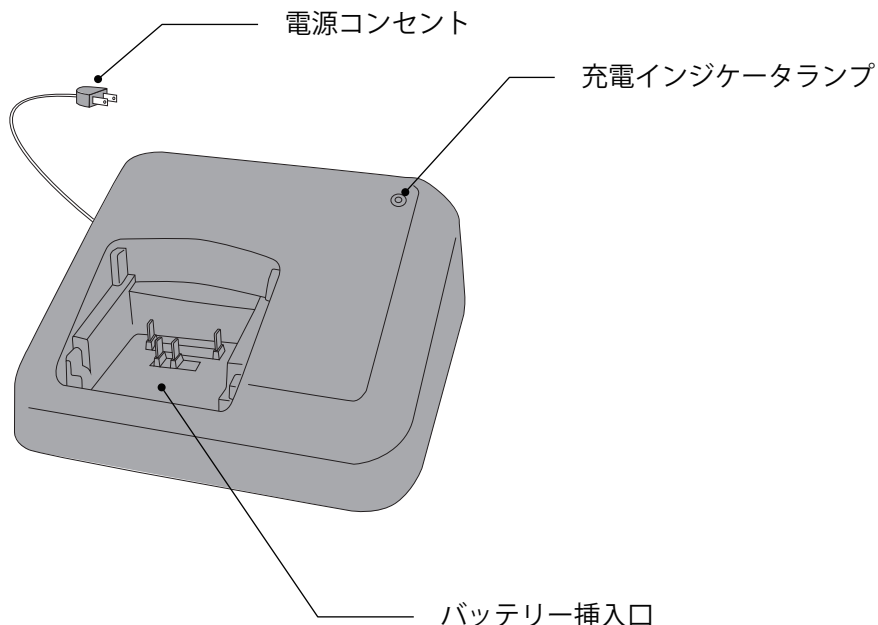
⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、死亡や重傷を負う危険性があります。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、けがをしたり商品を破損してしまいます。
🛇 禁止	やってはいけないことです。
❗ 強制	必ず守っていただくことです。
ⓘ 確認	必ず確認していただくことです。

2-1　各部名称（本体関係）

■LWバッテリースタンド(両面式)

本体サイズ(mm) W490×全高1090	
広告面	アクリル2.0 乳半色成形板
フレーム	0.8tペンタイト鋼板
ベース	3.0t平形
表面処理	粉体塗装仕上
カラー	ホワイト･ブラック
電装	高輝度LED12球
原稿サイズ	W440×H756
面板サイズ	W483×H803
質量	23.0kg
点灯時間	約7時間(満充電)

４ケのキャスターは
ストッパー付２ケとストッパーなし２ケの
構成になっています。

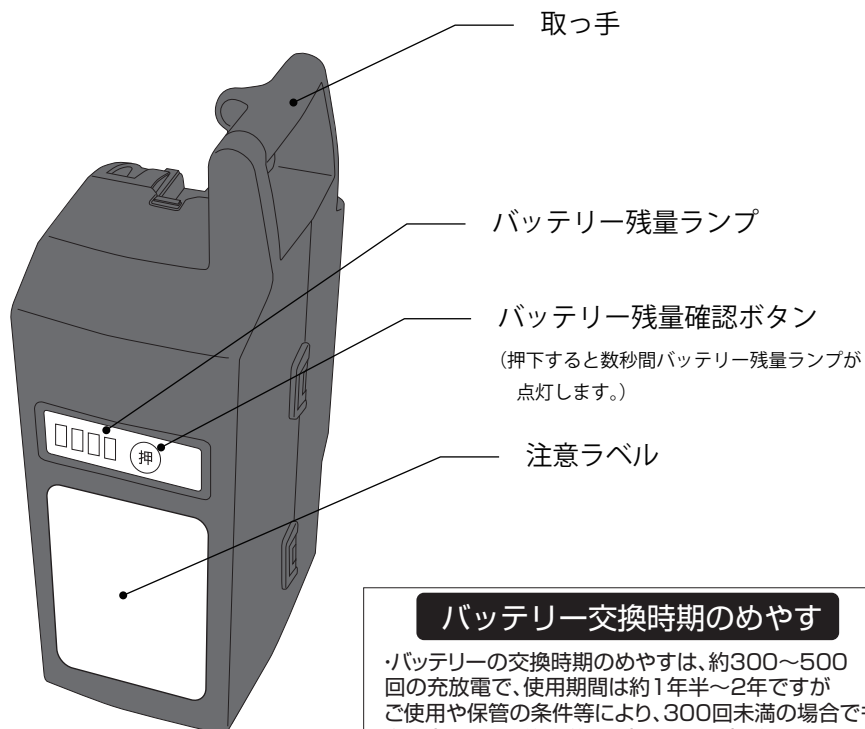
2-2 各部名称(バッテリー関係)

■バッテリーチャージャ(充電器)

本体サイズ(mm) 巾200×奥行195×厚み88	
入力	AC100V 50/60Hz
入力容量	115VA
出力	DC29.05V・2.0A
使用温度範囲	0~40℃/20~85%RH
保存温度範囲	−20~60℃/20~85%RH
電源コード長	1500±50mm
質量	825g
充電時間	約350分(約6時間)
充電制御方式	定電流⇒定電圧充電方式
充電終止電流	500mA

⚠ 注意

・充電器はAC100V専用です。電源コンセントはAC100V以外に
差し込まないでください。

■リチウムイオンバッテリーパック(着脱式)

本体サイズ(mm) 長手221(取っ手含まず)×巾80×厚み118.5	
電池容量	9.5Ah
出力電圧	DC25.2V
電力量	239Wh
標準充電電流	DC2A
充電電圧	DC29.1V
最大放電電流	18A
放電終止電圧	DC21V
放電能力(※)	500回で初期容量値の80%
質量	2.3kg

※周囲温度25℃での放電時の値です。

バッテリー交換時期のめやす

・バッテリーの交換時期のめやすは、約300~500
回の充放電で、使用期間は約1年半~2年ですが
ご使用や保管の条件等により、300回未満の場合でも
寿命(新品時の約半分以下)になる場合があります。

⚠ 注意

・バッテリーは消耗品です。
バッテリーの交換時期のめやすと保証期間は
関係ありません。

! 確認

■初めてお使いになる前に。

・バッテリーパックは、出荷時は満充電されていません。
P8『バッテリーの充電のしかた』をお読みになって、満充電してからご使用ください。

3-1 ご使用上の注意(本体関係)

⚠ 危険

・本体は絶対に改造しないでください。

⚠ 警告

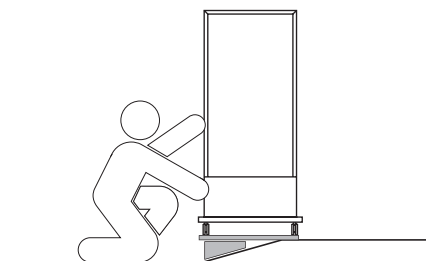
・風の強い日や大雨など荒天時は、
転倒又移動による事故が起きないように、
屋内など、安全な場所へ移動して下さい。

・取り扱う際は濡れた手でさわらないで下さい。感電したり、ショート、電装品の故障の原因となります。

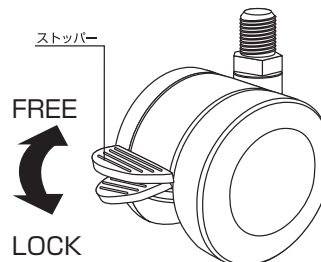
⚠ 注意

・歩行者がぶつかり怪我など事故が生じないよう、道路交通法にも配慮し、設置して下さい。また子供が看板で遊んで怪我をしないよう注意して下さい。

⚠ 注意

・本体は転倒防止のため、常に平らな場所でご使用下さい。
台などを利用しても確実に設置できない場合は、ご使用をおやめ下さい。

ⓘ 確認

・設置の際はストッパーを必ず固定し、常に外側に向けて下さい。

・移動の際はロックを解除して下さい。ロックの状態で押すと転倒します。

⚠ 注意

・表示板を強く押さないで下さい。表示板が割れてケガをする場合があります。

・看板は敷地内に設置して、使用者が充分管理できるようにして下さい。

・ご使用の際は、各自治体の条例に従ってください。

⊘ 禁止

・植え込みなど地盤のゆるい場所には設置しないで下さい。
転倒の原因になります。

・運搬時、足でベース部を押さないで下さい。
ベースが変形したり、塗装が剥がれてサビの原因になります。

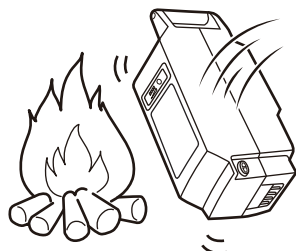
・本体に付属物の取付はしないで下さい。
看板強度が低下したり、電気部品の故障の原因になります。

3-2 ご使用上の注意（バッテリー・充電器関係）

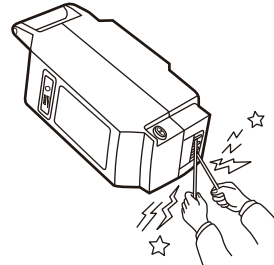
⚠ 危険

禁止

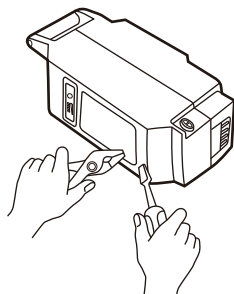
・バッテリーを火中に入れたり、加熱させたりしない。

液漏れ・異常発熱・破裂の原因となります。

禁止

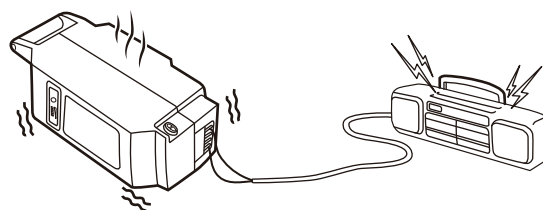
・バッテリーの電源端子を金属などで、ショートさせない。

感電・液漏れ・異常発熱・破裂の原因となります。

禁止

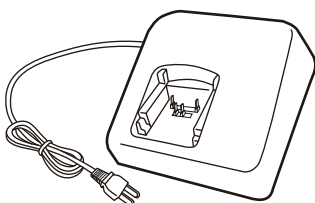
・バッテリーの分解・改造はしない。

感電・液漏れ・異常発熱・破裂の原因となります。

禁止

・専用のバッテリーのため指定看板以外の電気製品に接続しない。

液漏れ・異常発熱・破裂の原因となります。

強制

・バッテリーを充電する場合は専用の充電器を使用する。

他の充電器を使用すると、発火・異常発熱、故障につながる恐れがあります。

禁止

・充電器のケース、コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・発火・異常発熱の恐れがあります。

強制

・バッテリーの液が目に入ったときは、こすらずに、きれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受ける。

失明の恐れがあります。

禁止

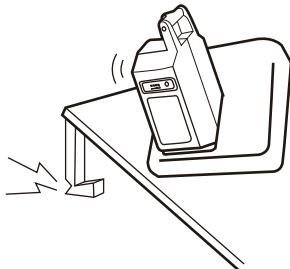
・充電器の分解、端子間のショート改造はしない。

感電・発火・異常発熱の恐れがあります。

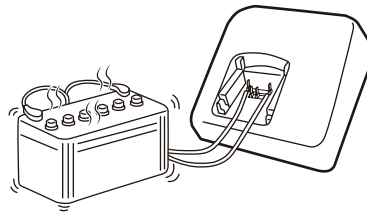
⚠ 警告

強制

・充電器は水平な面に置いて使用する。

傾いた所で充電すると
バッテリーが転倒し、
ケガの恐れがあります。

禁止

・充電器は専用電池(バッテリー)以外の充電には使用しない。

感電・発火・異常発熱の恐れがあります。

強制

・バッテリーの液が皮膚や衣類に付着したときは、直ちにきれいな水で洗い流す。

皮膚に障害を起こす恐れがあります。

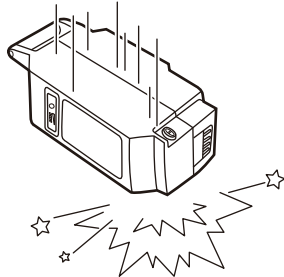
禁止

・バッテリーを閉めきった倉庫や、自動車内など、高温になる場所に保管、または長時間放置しない。

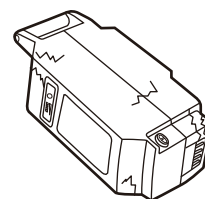
常温(0～30℃)で直射日光のあたらない所に保管する。

禁止

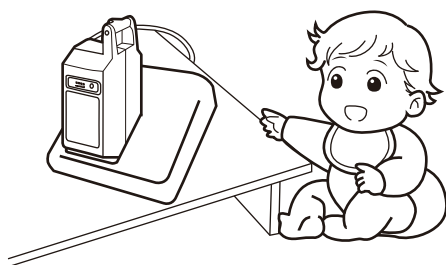
・バッテリーを落下させたり衝撃を与えるなど、乱暴な取扱いをしない。

ケースの破損、
液漏れ・異常発熱、
破裂の原因になります。

禁止

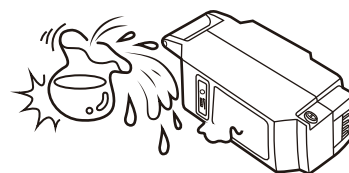
・バッテリーケースやバッテリーハンドルが破損したバッテリーは使用しない。

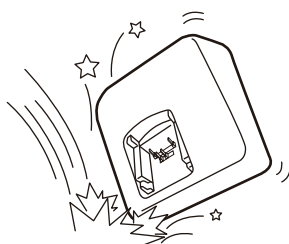
液漏れ・異常発熱、
破裂、バッテリーを落としたりする
原因になります。

禁止

・幼児の手の届くところでは充電しない。

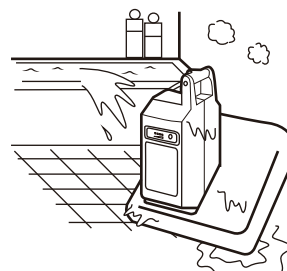
感電やけがの原因になります。

禁止

・バッテリーに水や海水をかけたり水中に入れない。

ショート、異常発熱で使用できなくなります。
雨に濡れたときは、そのまま放置せずに
乾いた布で水滴を拭き取ってください。

禁止

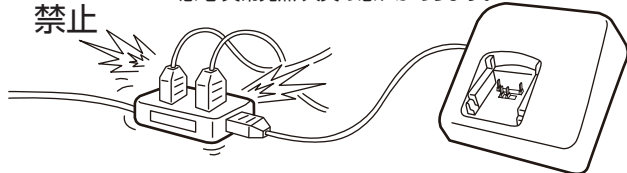
・充電器を落下させたり衝撃を与えるなど、乱暴な取扱いをしない。

禁止

・浴室など湿気の多いところや、屋外で雨にぬれるところなどでは充電しない。

感電・発火・異常発熱の恐れがあります。

⚠ 警告

禁止

・延長コードの使用、他の電気器具とのタコ足配線はしない。

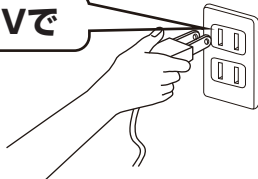
感電･異常発熱･火災の恐れがあります。

禁止

・電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。また重い物を載せたり、挟み込んだりしない。

コードが破損し、感電･火災の原因になります。

強制

・電源は交流100V専用のコンセントを使用する。

火災、感電の原因になります。

禁止

・電源プラグをぬれた手で抜き差ししない。

感電の恐れがあります。

⚠ 注意

禁止

・充電中は、充電器に長時間触れない。

ケースの温度が40～60℃になる場合があり、低温やけどの恐れがあります。

強制

・充電しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておく。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

強制

・電源コードがドアやサッシなどに挟まれないよう取扱いには十分に注意する。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

強制

・電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って抜く。

感電･ショート･発火の原因になります。

強制

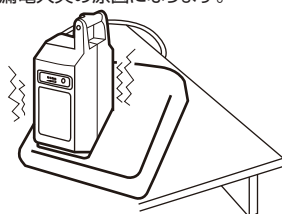
・電源プラグにゴミや土、油が付着しないように注意する。

感電や発火の恐れがあります。

強制

・充電器にバッテリーをしっかりと奥まで差し込む。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

強制

・看板を長期間ご使用にならないときはバッテリーを看板から外しておく。

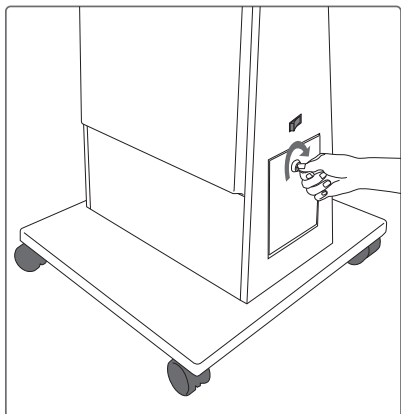
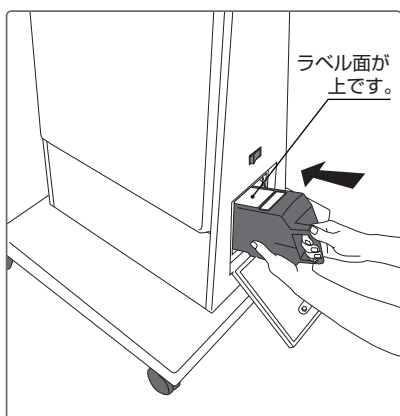
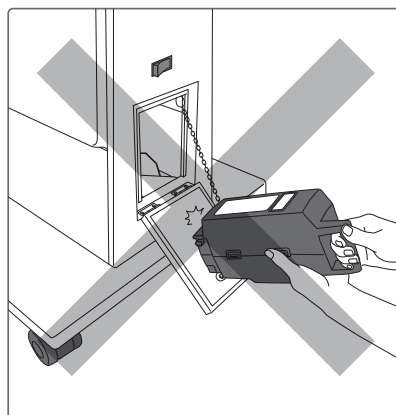
液漏れの原因となることがあります。

禁止

・バッテリーを充電器に取り付けたまま持ち上げない。

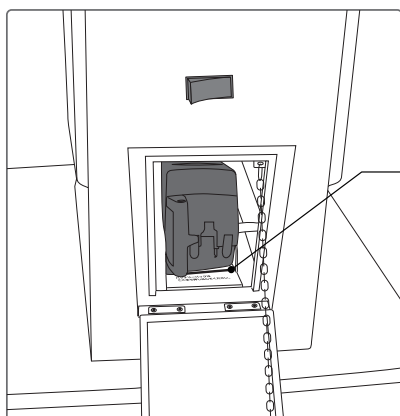
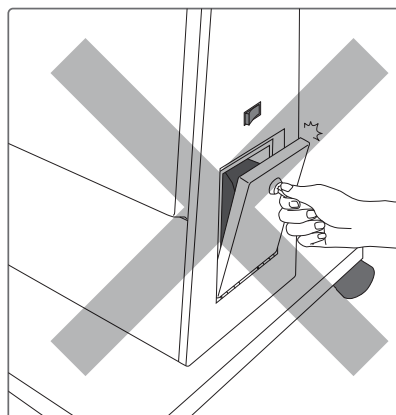
充電器が外れて落下し、けがをする恐れがあります。

4　バッテリーの着脱のしかた

■1　バッテリー挿入口をカギで開きます。

■2　バッテリーパックを内部に挿入してください。

※挿入の際にフタにバッテリーパックを乗せたり
するなど、フタに荷重をかけないでください。
フタの変形や故障の原因となります。

※バッテリーパックのラベル面を上にして、内部スロープに挿入してください。
※着脱時はバッテリーパックを両手でしっかりと持ってください。

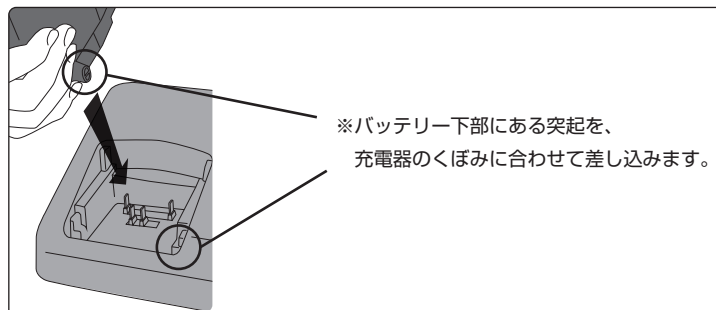
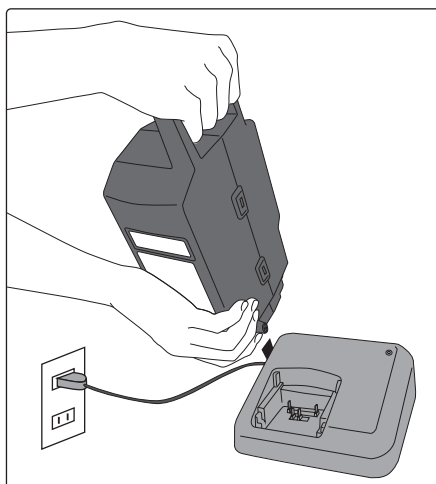
⚠ 危険　※雨天時などバッテリーパックや手が濡れている状態で着脱をしますと、
ショートや感電の危険性があります。乾いた状態でとりおこなってください。

■3　バッテリーパックを奥まで確実に挿入してください。

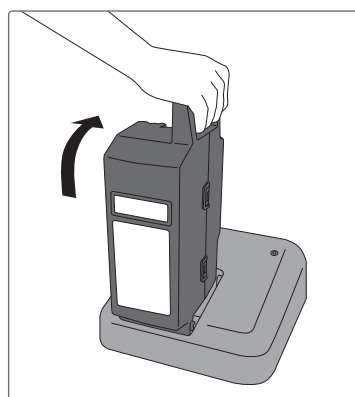
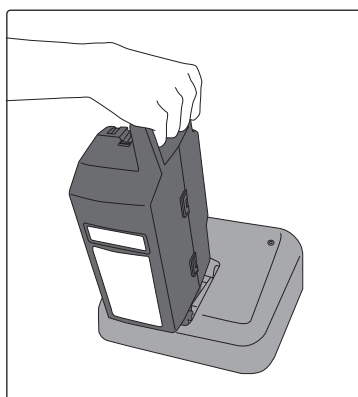
※確実に挿入されていないと、フタが閉まりません。
※確実に挿入されていないと、点灯しません。

※挿入完了ラインが見えるまで押し込んでください。
※最後まで挿入し辛い際には、電池を左右に揺さぶると
挿入しやすくなります。

■4　バッテリーパック取り外す際は、逆の手順で取り外してください。

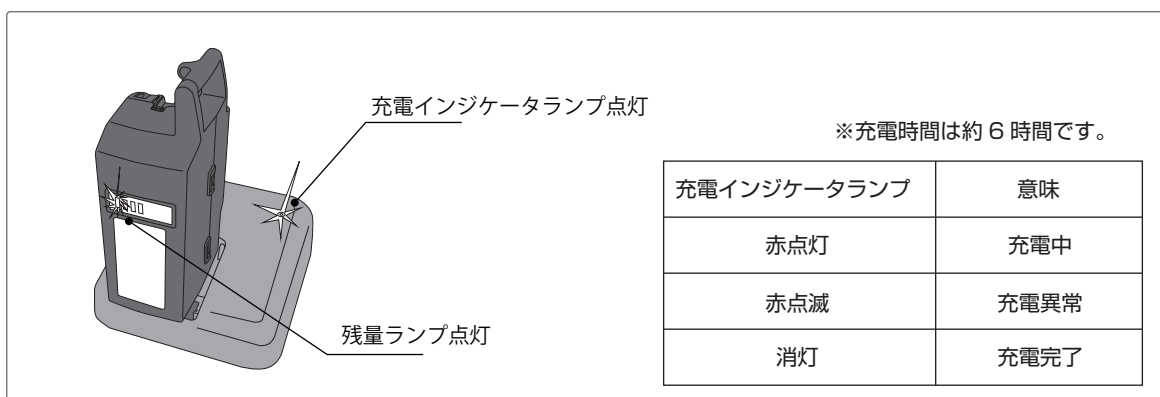
5　バッテリーの充電のしかた

■1　バッテリーパックを充電器に差し込みます。

※バッテリーパックは両手でしっかりと持って作業してください。

※バッテリーパックは、ラベル面を手前にして、
ななめ手前からゆっくりと挿入するようにしてください。

■2　バッテリーパックを充電器に差し込んだら、奥に起こすようにします。

■3　充電インジケータランプとバッテリーパックの残量ランプが点灯し、充電が開始されます。

※充電時間は約６時間です。

充電インジケータランプ	意味
赤点灯	充電中
赤点滅	充電異常
消灯	充電完了

⚠ **警告**　※充電インジケータランプが赤点滅（充電異常）の場合は、直ちに充電を
やめてください。

6　清掃について

うすめた中性洗剤を含ませた、柔らかい布又はスポンジにて、
表面のヨゴレをふき取って下さい。

禁止　漏電の原因になりますので、直接水をかけないで下さい。

禁止　シンナー等の溶剤は使用しないで下さい。

確認　ユニット内部を清掃する場合は必ず電源を切って作業して下さい。

7　保管の方法

警告　人や車両の通行の妨げにならない敷地内などの場所や、店内など屋内に保管してください。

注意　保管される際は、看板の劣化を防ぐため、直接雨の当たらない屋内などの場所に保管してください。

8　メンテナンス(故障・修理)について

警告　危険です。修理はご自分でしないで下さい。

看板設置後に異常が発生した場合は使用をおやめください。
破損、漏電などの原因で、人身事故や火災などの事故の発生が予測されます。
事故の発生を未然に防ぐために取扱店までご連絡ください。

天災(突風、地震)、物体(自動車,落下物)等がぶつかるなどして転倒したり、被害にあった場合は、
必ず看板の状態を確認して、異常がある場合は補修、修理の手配をしてください。

9　使用済みのバッテリーについて

使用済みのバッテリーは、各自治体の条例にしたがって、適切に処分してください。

ご不明な点がありましたら、販売店・弊社までお問い合わせください。

症状	考えられる原因	対処方法
・広告面が点灯しない	・看板本体に バッテリーが挿入されていない	・看板本体に バッテリーを挿入してください。
	・バッテリーの差し込みが不確実	・バッテリーは、挿入確認ラインが 見えるまで挿入してください。
	・看板本体の スイッチが OFF になっている	・看板本体のスイッチを ON にしてください。
	・バッテリーが充電されていない	・バッテリーを充電してください。
	・LED が故障、もしくは内部配線 が破損している。	・販売店に修理の依頼をしてください。
・点灯時間が短くなった	・バッテリーが劣化した	・バッテリーは消耗品です。 使用環境や使用回数により容量が 減少します。 点灯時間が購入初期状態の半分以下 になった際は、バッテリーの寿命と なります。
・バッテリーが 充電できない	・バッテリーチャージャの コンセントプラグが 差し込まれていない。	・バッテリーチャージャのコンセント プラグを AC100V の電源に差し込んで ください。
	・バッテリーが破損している	・バッテリーがショートなどの電気的 ダメージや、落下などの物理的ダメージ を受けますと使用不能となります。 ただちに使用を中止し、バッテリーを 新しいものと交換してください。
	・バッテリーが劣化した	・バッテリーは消耗品です。 使用環境や使用回数により容量が 減少します。 充電できなくなった際は、バッテリーの 寿命と考えられます。 ただちに使用を中止し、バッテリーを 新しいものと交換してください。

製品は改良のため、予告なしに仕様変更する場合がございます。予めご了承下さい。

●製造元

三和サインワークス株式会社

東京営業部 〒108-6030
東京都港区港南2丁目15-1（品川インターシティA棟30F）
TEL（03)5783-3001(代)　FAX（03)5783-3010(代)

大阪営業部 〒530-0001
大阪市北区梅田3丁目1-3（ノースゲートビルディング16F）
TEL（06)6453-3002(代)　FAX（06)6453-3022(代)

福岡営業所 〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-25-21（博多駅前ビジネスセンタービル3F）
TEL（092)472-7277(代)　FAX（092)472-7278(代)

京都工場 〒610-0261
京都府綴喜郡宇治田原町大字岩山小字釜井谷1-44
TEL（0774)99-7702(代)　FAX（0774)99-7712(代)

埼玉工場 〒358-0014
埼玉県入間市宮寺字宮ノ台4030（武蔵工業団地内）
TEL（04)2934-5311(代)　FAX（04)2934-5313(代)

つくば工場 〒300-0198
茨城県かすみがうら市加茂5289-1
TEL（029)828-1615(代)　FAX（029)828-1289(代)

ホームページアドレス
http://www.sanwa-signworks.co.jp/

メールアドレス
info@sanwa-signworks.co.jp

2014.04(rev.2)